



本メールマガジンは山梨大学 新技術情報クラブ会員の皆様へ最新情報をお知らせする目的で配信しております。メール配信を希望されない方は、「配信停止」とお書きの上、ご返信ください。

産学連携コーディネータ  
活動レポート コラム【No.28】  
コーディネータ 最上 修平

いつもお世話になっております。産学連携コーディネータの最上です。新年度が始まりました。本年度も宜しくお願い致します。

4月14日(木)熊本県益城町で激しい揺れを伴う震度7の地震が観測され、その後も、熊本・大分県では多くの地震が観測されています。避難者は熊本県だけでも9万人にも上っている様です。被害の最小化と一刻も早い復旧を祈り、何らかの支援して参りたいと思っております。

昨年度3月11日(金)、当クラブ2015年度第2回交流会にお出で下さいまして誠に有難うございました。法人会員13社中12社から17人の出席回答を戴きました。当日急に来れなくなった方もあり最終的には15人となりましたが、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

その翌週3月17日(木)の山梨日日新聞に「産学 気軽に研究交流」という見出しでアカデミックサロンが紹介されました。取材が昨年12月のものでした(没になったかと思っておりました)非常に驚きましたが、とても嬉しくさらに頑張っていきたいという思いを強くしております。

そして、今年度第一回目となる第11回アカデミックサロンを4月22日(金)に開催しました。元気のよい北村先生の講演「機械の騒音を小さく、そして快適に」と討論で大いに盛り上がりました。このような機会が産学連携の具体的な取り組みに繋がっていくと信じております。

また、遅れていた機構の新HPリニューアルは、4月5日に公開致しました。

URL: <http://www.scrs.yamanashi.ac.jp/>

産学官連携に関しては、「技術シーズ」検索、「技術相談」「共同・受託研究等」の案内、「新技術情報クラブ」の紹介と関連情報を掲載しています。必要な情報を集約し見易く使い易くしたつもりでありますが、皆様のご意見を戴きながら改善していく所存ですので、宜しくお願い致します。

信玄公祭りが終わり桜も散って、やっとな花粉も少なくなった様な感じです。先週水曜4月20日は二十四節気の「穀雨」でした。

南から水蒸気を多く含んだ空気が流れ込むようになりまとまった雨が降るため、田畑を潤して農作物の新芽を盛んに生長させる、とあります。

その後は暑くなりそうです。

---

■ メールマガジン目次

---

- 01： 公募情報 (6件)  
02： イベント案内 (4件)  
03： プレス情報 (2件)  
04： その他 お知らせ (2件)
- 



■ 01: 公募情報( 6件)



- 
- (1) 平成 28 年度予算に係る戦略的基盤技術高度化支援事業  
(2) 中小企業活路開拓調査・実現化事業  
(3) 小規模事業者持続化補助金の公募の開始  
(4) 「中小企業・小規模企業振興基金助成事業」のご案内  
(5) 「研究開発型ベンチャー支援事業／シード期の研究開発型ベンチャーに対する事業化支援」に係る公募  
(6) 山梨県 平成 28 年産業振興事業費補助金の公募のご案内
- 

(1) 【中小企業庁 公募開始】(公募期間：4/15～6/9)

平成 28 年度予算に係る戦略的基盤技術高度化支援事業

<http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/sapoin/2016/160415SenryakuKoubo.htm>

---

中小企業庁の戦略的基盤技術高度化支援事業は、デザイン開発、精密加工、立体造形等の特定ものづくり基盤技術(12 分野)の向上につながる研究開発、その事業化に向けた取組を支援することが目的です。中小企業・小規模事業者が大学・公設試等の研究機関等と連携して行う、製品化につながる可能性の高い研究開発及びその成果の販路開拓への取組を一貫して支援します。概要を以下に記載しますが、詳細はリンク先を確認ください。

●応募対象事業

この事業の応募対象は、中小ものづくり高度化法(以下「法」という。)第 3 条に基づき経済産業大臣が定める「特定ものづくり基盤技術高度化指針」に沿って策定され、新たに法第 4 条の認定を受けた特定研究開発等計画(以下「法認定計画」という。)を基本とした研究開発等の事業になります。

●応募対象者

・法の認定を受けたものづくり中小企業・小規模事業者を含む、事業管理機関、研究等実施機関、総括研究代表者(PL)、副総括研究代表者(SL)、アドバイザー によって構成される共同体を基本とします。

・共同体の構成員には、法認定申請を行い、認定を受けた「申請者」と「共同申請者」(以下「法認定事業者」)及び協力者を全て含む必要があります。

・この事業への応募者は、事業管理機関です。事業管理機関は、研究開発計画の 運用管理、共同体構成員相互の調整を行うとともに、事業管理及び研究開発成果の普及等を主体的に行うものです。

●補助事業期間と補助金額等

・補助事業期間：2 年度又は 3 年度

・補助金額(上限額)：平成 28 年度(平成 29 年 3 月 31 日まで)に行う研究開発等に要する補助金額の合計が、4,500 万円以下。

(1)大学・公設試等(補助率：定額 1,500 万円以下)

(2)中小企業・小規模事業者等(補助率：2/3 以内)

●公募期間 : 平成 28 年 4 月 15 日(金)～平成 28 年 6 月 9 日(木)

●採択想定件数 : 100 件程度採択する予定。

●公募書類・お問い合わせ先 : リンク先で確認下さい。

---

(2) 【全国中小企業団体中央会 公募受付中】(募集期間：2/22～7/22)  
～中小企業活路開拓調査・実現化事業(第3次受付中 4/26～6/13)～  
※リンク先 [http://www.chuokai.or.jp/img/h2\\_info.png](http://www.chuokai.or.jp/img/h2_info.png)

---

環全国中小企業団体中央会では、環境化等に対応するため、単独では解決困難な諸テーマ(新たな活路開拓・付加価値の創造、既存事業分野の活力向上・新陳代謝、取引力の強化、情報化の促進、技術・技能の継承、海外展開戦略、各種リスク対策等)について、中小企業連携グループが改善・解決を目指すプロジェクトを支援します。詳細はリンク先を確認ください。

【支援対象者】

中小企業組合(事業協同組合、商工組合、企業組合等)中心とした  
中小企業の連携グループ

【補助率】 補助対象経費の10分の6以内

【補助対象となる事業種類等】

事業内容等の詳細は、「各事業募集要綱」を必ずご覧ください。

- 中小企業組合等活路開拓事業(略称「一般活路」「展示会」)  
調査研究/ビジョン作成/試作開発/実証実験/国内・海外展示会出展・開催
- 組合等情報ネットワークシステム等開発事業(略称 NW)  
実現可能性調査研究/システム開発
- 連合会(全国組合)等研修事業(略称「連合会研修」)  
活路開拓研修、経営革新演習

【応募受付期間】平成28年2月22日(月)～7月19日(火)

(1)第1次締切：平成28年3月22日(火)【17時必着】(済)

(2)第2次締切：平成28年4月25日(月)【17時必着】(済)

(3)第3次締切：平成28年6月13日(月)【17時必着】

(4)第4次締切：平成28年7月19日(火)【17時必着】

※締切ごとに、審査・採択を行い、予算枠に達した時点で終了となります。

---

(3) 【中小企業庁/山梨県 公募受付中】公募期間 2/26～5/13

小規模事業者持続化補助金の公募の開始について

※リンク先 <http://www.shokokai.or.jp/19/1942510000/index.htm#sin18766>

---

平成27年度補正(平成28年実施)小規模事業者持続化補助金の公募を下記の通り開始します。

本事業は、持続的な経営に向けた経営計画に基づく、小規模事業者の地道な販路開拓(創意工夫による売り方やデザイン改変等)の取り組みを支援するため、それに要する経費の一部を補助するものです。

小規模事業者(注1)が、商工会・商工会議所の助言等を受けて経営計画を作成し、その計画に沿って地道な販路開拓等に組み込む費用の2/3を補助します。補助上限額：50万円(注2、注3)。

(注1)小規模事業者とは、「製造業その他の業種に属する事業を主たる事業として営む商工業者(会社および個人事業主)」であり、常時使用する従業員の数が20人以下(卸売業、小売業、サービス業(宿泊業・娯楽業を除く))に属する事業を主たる事業として営む者については5人以下)の事業者です。

(注2)補助対象経費75万円の支出の場合、その2/3の50万円を補助します。同様に、補助対象経費60万円の支出の場合は、その2/3の40万円が補助金額となります。また、補助対象経費90万円の支出の場合には、その2/3は60万円となりますが、補助する金額は、補助上限額である50万円となります。

(注3)以下の場合、補助上限額が100万円に引き上がります。

①雇用を増加させる取り組み ②買い物弱者対策の取り組み ③海外展開の取り組み

(注4) 原則として、個社の取り組みが対象ですが、複数の小規模事業者が連携して取り組む共同事業も応募可能です。その際には、補助上限額が100万円～500万円となります(連携する小規模事業者数により異なります)。

(注5) 商工会会員、非会員を問わず、応募可能です。

1. 受付開始 平成28年2月26日(金)
2. 受付締切 平成28年5月13日(金) 締切日当日消印有効  
※申し込みにあたり、補助金申請者が所在する地区の商工会・商工会議所で書類を確認する作業が必要のため、締切日まで余裕を持った日程で、商工会・商工会議所にご相談ください。
3. 申請書提出先・問い合わせ先: 補助金申請者が所在する商工会連合会  
※詳細は公募要領をご覧ください。
4. 応募方法: 応募にあたっては、公募要領をご覧いただき、申請書様式により提出して下さい。

5. 添付書類

- ・ [http://www.shokokai.or.jp/19/1900210000/1\\_18712/平成27年度補正.htm](http://www.shokokai.or.jp/19/1900210000/1_18712/平成27年度補正.htm)
- ・ [http://www.shokokai.or.jp/19/1900210000/1\\_18712/H27補正小規模事業者持続化補助金 公募要領 \(山梨県\).pdf](http://www.shokokai.or.jp/19/1900210000/1_18712/H27補正小規模事業者持続化補助金公募要領(山梨県).pdf)
- ・ [http://www.shokokai.or.jp/19/1900210000/1\\_18712/H27補正申請様式.docx](http://www.shokokai.or.jp/19/1900210000/1_18712/H27補正申請様式.docx)

---

(4) 【(公財) やまなし産業支援機構 公募】 公募期間 4/19～5/27

「中小企業・小規模企業振興基金助成事業」のご案内

※リンク先: <https://www.yiso.or.jp/topics/403.html>

---

当財団では、次の取り組みにチャレンジする県内に事業所を有する中小企業・小規模企業の皆様に対し、必要経費の一部を助成する『中小企業・小規模企業振興基金助成事業』を新たに開始いたします。この機会にぜひご活用ください。

- ①新製品・新技術開発等の研究開発の取り組み  
<http://www.yiso.or.jp/subsidy/promote1.html>
- ②商品やデザイン開発、市場調査など市場開拓の取り組み  
<http://www.yiso.or.jp/subsidy/promote2.html>
- ③技術交流活動の取り組み(新分野進出連携促進助成事業)  
<http://www.yiso.or.jp/subsidy/promote3.html>

◆ 応募期間 平成28年4月19日(火)～平成28年5月27日(金)

◆ 助成事業の種類と概要は次を参照してください

●新製品・新技術研究開発助成事業(概要:新製品・新技術の研究開発を支援するため、研究開発に要する経費の一部を助成します。

対象者: 県内に事業所を有する中小企業・小規模企業、中小企業・小規模企業のグループ

助成対象経費: 謝金、旅費、研究開発事業費、庁費、委託費、その他

助成期間: 12月以内

助成限度額: 100万円(助成率 対象経費の2/3以内)

採択件数: 5件程度

●新製品事業化促進助成事業

概要: 商品・デザイン開発及びこれに関連する情報収集、市場開拓に要する経費の一部を助成します。

対象者: 県内に事業所を有する中小企業・小規模企業、中小企業・小規模企業のグループ

助成対象経費: 商品デザイン開発費、委託費、旅費、庁費、謝金、その他

助成期間：12月以内

助成限度額：100万円（助成率 対象経費の2/3以内）

採択件数：2件程度

※助成対象経費に関しては、事業ごとに異なるため要相談

●新分野進出連携促進助成事業

概要：県内中小企業等の新分野進出を支援するため、県内中小企業・

小規模企業等のグループの技術交流活動に要する経費の一部を助成します。

対象者：県内に事業所を有する中小企業・小規模企業等のグループ

助成対象経費：謝金、旅費、庁費、その他

助成期間：12月以内

助成限度額：30万円（助成率 対象経費の2/3以内）

採択件数：3件程度

◆詳しくは下記リンク先を参照ください。（要綱、応募要領、申込書 掲示）

①新製品・新技術研究開発助成事業

<http://www.yiso.or.jp/subsidy/promote1.html>

②新製品事業化促進助成事業

<http://www.yiso.or.jp/subsidy/promote2.html>

③新分野進出連携促進助成事業

<http://www.yiso.or.jp/subsidy/promote3.html>

※6月下旬（予定）に審査し採択の可否を決定いたします。

※応募をご希望される場合は、あらかじめ次までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

公益財団法人 やまなし産業支援機構

新産業創造部 新事業創造課

〒400-0055 山梨県甲府市大津町 2192-8

TEL 055-243-1888 FAX 055-243-1885

E-mail [sinjigyo@yiso.or.jp](mailto:sinjigyo@yiso.or.jp)

---

(5) 【NEDO 公募】公募期間 4/15～5/27

「研究開発型ベンチャー支援事業／シード期の研究開発型ベンチャーに対する事業化支援」に係る公募のご案内

※リンク先：[http://www.nedo.go.jp/koubo/CA2\\_100107.html](http://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100107.html)

---

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下「NEDO」という。）は、下記事業の実施者等を一般に広く募集します。

1.事業内容

(1) 概要

NEDOは、シード期の研究開発型ベンチャー（以下「STS」という。）に対する事業化支援の助成事業について、平成28年度の助成事業者の公募を行います。詳細は公募要領をご確認ください。

【助成事業の概要】

具体的な技術シーズを活用した事業構想を持ち、NEDOが別途公表している認定VCより、NEDOに申請する助成金の

15/85以上の金額の出資を受けるSTSへNEDOは助成します。

助成率及び助成額上限：助成率：85%以内（1件あたりの上限額は7,000万円）

助成事業の期間：付決定日から平成29年9月30日まで。助成対象経費：

技術シーズの事業化に必要な経費（実用化開発、企業化可能性調査等）対象技術：・経済産業省所管の鉱工業技術（例えば、ロボティクス、AI、エレクトロニクス、IoT、クリーンテクノロジー、素材、医療機器、ライフサイエンス、バイオテクノロジー技術、航空宇宙等。但し、原子力に係るものは除く。）

・具体的技術シーズであって、研究開発要素があることが想定されること。例

えば、スマートフォンのアプリ開発のためのソフトウェアのコーディングなど、技術的要素が薄いものや、既存製品（購入品）を利用しただけのものについては対象外とする。

・競争力強化のためのイノベーションを創出しうるものであること。

(2) 公募期間

平成 28 年 4 月 15 日～平成 28 年 5 月 27 日正午まで（必着）。郵送及び特定信書便のみ可となっております。

(3) 公募要領・申請書等 リンク先を参照ください。

---

(6) 【山梨県 公募】公募期間 4/26～6/3

平成 28 年産業振興事業費補助金

～ダイナミックやまなしイノベーション研究開発補助金～の公募のご案内

※リンク先：

<http://www.pref.yamanashi.jp/shinjigyo/kenkyukaihatsu/sangyoshinko.html>

---

◆補助金制度の目的

山梨県のものづくり産業の活性化を図るため、今後成長が期待される産業分野への進出を促進し、経営革新や業種転換を進める中小企業の研究開発を支援することにより、本県産業の高度化と競争力の高い産業集積の形成を図ることを目的としています。また、本年度からは、新たに国立研究開発法人産業技術総合研究所との共同による研究開発に対して、特別枠を設け、産学官連携による研究開発を促進していきます。

◆募集期間

●第一次募集：

平成 28 年 4 月 26 日（火曜日）～平成 28 年 6 月 3 日（金曜日）

※産総研連携枠（特別枠）の募集はありません。

●第二次募集：平成 28 年 8 月下旬～9 月下旬

募集要項等はリンク先で確認ください。

◆応募書類提出先

山梨県工業技術センター 企画情報部 総合相談・研究管理科

〒400-0055 甲府市大津町 2094 TEL：055-243-6111

山梨県富士工業技術センター 企画情報科

〒403-0004 富士吉田市下吉田 6-16-2 TEL：0555-22-2100

◆お問い合わせ先

山梨県産業労働部 新事業・経営革新支援課 新分野進出担当

〒400-8501 甲府市丸の内 1-6-1 TEL：055-223-1565

---

□■

02： イベント案内（4 件）

□■

5/19 製品含有化学物質管理実践セミナー（全国中央会）

5/19 東京都デザイン導入支援セミナー

5/30 山梨科学アカデミー交流大会

6/8～10 TIRI クロスミーティング 2016

---

(1) 5/19 製品含有化学物質管理実践セミナー（全国中央会）

※リンク先 <http://www2.chuokai.or.jp/hotinfo/zenchu20160425.html>

---

●開催主旨

近年、ものづくりのグローバル化及び国際的な化学物質使用規制の高まりから、どのような化学物質が含まれているかの把握など化学物質の情報を適切に管理することが不可欠となっています。

現在、経済産業省では、中小企業が、複数の川下製品メーカーから個社独自様式での報告を求められること等がないよう、サプライチェーンにおける新たな情報伝達スキーム「chemSHERPA」の開発及び運用を開始しました。

そこで全国中央会では、化学物質の情報伝達等の管理及び「chemSHERPA」等について中小企業にご理解を頂くため、下記の通りセミナーを開催することと致しました。ぜひ、中小企業の皆様のご参加をお待ちしております。

●開催要領

1. 日 時：平成28年5月19日（木）13：30～17：00  
（受付 13：00～13：30）

2. 場 所：TKP麹町駅前会議室ホール8A  
（東京都千代田区麹町3-2麹町共同ビル8階）

3. テーマ：

講演1-1：新情報伝達スキーム「chemSHERPA」の動向

講師 みずほ情報総研株式会社

環境エネルギー第2部 シニアコンサルタント 菅谷 隆夫氏

環境エネルギー第1部 シニアコンサルタント 芦ヶ原 千里氏

講演1-2：

化学物質情報伝達の現状と課題～EU RoHS指令を中心に～

講師 一般社団法人東京環境経営研究所

理事長 松浦 徹也氏（中小企業診断士）

講演2：「事業場における化学物質管理（危険性・有害性のリスクアセスメント）

講師 一般社団法人産業環境管理協会 化学物質総合管理部門

国際化学物質管理支援センター 技術参与 田嶋 晴彦氏

4. 参加料：無 料

●申込先：リンク先で確認下さい。

●問合せ先

全国中小企業団体中央会 政策推進部（篠塚）

電 話：03-3523-4902 FAX：03-3523-4909

---

(2) 5/19 東京都デザイン導入支援セミナー

※リンク先 <http://www.tokyo-kosha.or.jp/topics/1603/0015.html>

---

公益財団法人東京都中小企業振興公社は以下要領で、「東京都デザイン導入支援セミナー」を開催します。

●開催主旨

東京都デザイン導入支援セミナーでは、デザインを活用して商品開発等を図ろうとする中小企業者に対して、デザインの役割や導入方法などを紹介する「デザイン導入支援セミナー」を開催しております（年4回）。

今回は下記のテーマにて開催いたします。ぜひ奮ってご参加ください。

●開催概要

1. タイトル：町工場発世界へ！ デザイナーと取り組む新製品開発

2. 日 時：平成28年5月19日（木）13：30～15：30（13：00開場）

3. 受講料：無料

4. 会 場：東京ミッドタウン・デザインハブ リエゾンセンター

[東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー5階]

5. 募集人数：50名（先着順・要事前申し込み）

●講 師

・神山 麻子氏：太洋塗料株式会社 取締役 CTO

●内 容:「東京ビジネスデザインアワード」をきっかけにデザイナーと協働し、まったく新しい商品開発に挑んだ太洋塗料。商品化にはどのような困難が待ち受けていたのでしょうか。中小の町工場が軒を連ねる東京・大田区に本社工場を持つ太洋塗料。業務用の特殊塗料を扱う同社が、はじめてデザイナーと組んで一般消費者向けのオリジナル商品「マスキングカラー」を開発しました。現在、「マスキングカラー」はグッドデザイン賞を受賞、国内外の展示会でも脚光を浴び、テレビ番組で特集されるなど、同社は「町工場の星」と注目を集めています。今回のセミナーでは、「マスキングカラー」の開発担当者を講師に迎えて、今だから話せる商品開発の裏側や、デザイナーと協働するときの心得など、開発プロジェクトの全貌についてお話しいたします。

●申込方法→リンク先で確認下さい。

●問い合わせ先

公益財団法人東京都中小企業振興公社 経営戦略課

TEL : 03-5822-7232 / FAX : 03-5822-7233

E-mail : senryaku@tokyo-kosha.or.jp

---

(3) 5/30 山梨科学アカデミー交流大会

※リンク先 <http://www.tyaos1995.or.jp/pdf/H2805academy-seminar.pdf>

山梨科学アカデミー奨励賞授与式・受賞講演に加え、2015年ノーベル生理学・医学賞を受賞された山梨科学アカデミー名誉会長の大村智先生による特別講演を開催します。

【日時】2016/5/30(月) 17:00～

【会場】ベルクラシック甲府

<http://www.belleclassic-kofu.com/access/index.html>

甲府市丸の内1丁目1-17 TEL 055-254-1000

【プログラム】

●第21回 山梨科学アカデミー奨励賞 授与式

●第21回 山梨科学アカデミー奨励賞 受賞講演

山梨県総合農業技術センター 主任研究員 本剛 剛 氏

「総合的な鳥獣防止技術に関する研究」

●特別講演 (18:00～19:10)

「エバーメクチン物語」 大村智 先生

【申込方法】リンク先のチラシを参照ください。

【申込先】 山梨県庁私学・科学振興課内

公益社団法人山梨科学アカデミー事務局

TEL : 055-223-1312, FAX : 055-223-1781

Mail : [shigaku-kgk@pref.yamanashi.lg.jp](mailto:shigaku-kgk@pref.yamanashi.lg.jp)

【参加費】 無料

---

(4) 6/8～10 TIRI クロスミーティング 2016

※リンク先

<http://www.iri-tokyo.jp/joho/event/h28/0608-10crossmeeting.html>

独立行政法人東京都立産業技術研究センター(都産技研)は平成18年に全国の公設試験研究機関に先駆けて地方独立行政法人化し、10周年を迎えました。これを機に、これまで都産技研の技術シーズや研究成果を発表してきた「研究成果発表会」を「TIRI クロスミーティング」へと名称を変更し、中小企業と技術の出会いの場として活用いただく会へと内容の充実を図ります。

～中小企業と技術の出会い場(事前申込制 参加無料)～

TIRI クロスミーティング2016

○会期:平成28年6月8日(水曜日)14時45分～18時00分

9日(木曜日) 10時00分～17時30分

10日(金曜日) 10時00分～17時30分

○会場：地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター 本部  
江東区青海 2-4-10

※参加お申し込み受付を開始しました→参加申し込みはリンク先の「TIRI  
クロスミーティング特設ページ」から願います。

<http://www.tosangiken-seika.jp/>

●特別プログラム【事前予約制】

1. 6月8日(水) ー都産技研地方独立行政法人化10周年プログラムー

・14時45分～15時00分 開会式/都産技研事業紹介

・15時00分～16時30分 記念講演

「中小企業の競争力は、ビジネスモデルとそれを支える知財マネジメントで  
決まる～産業生態系の変容の中で何を検討しなければならないか～」

妹尾 堅一郎 氏 特定非営利活動法人産学連携推進機構 理事長

一橋大学大学院商学研究科 MBA 客員教授

・15時00分～16時30分 記念講演

「メディカロイドが目指す医療ロボットについて」

田中 博文 氏 株式会社メディカロイド 常務取締役

川崎重工業株式会社 精密機械カンパニー

ロボットビジネスセンター 医療ロボット部門担当理事

(講演終了後、各会場で講演者参加の名刺交換会を行います。【参加自由】)

2. 6月9日(木) ーロボット、海外展開支援ー

・10時00分～10時50分 特別講演

「ロボットと未来社会」(マツコロイド開発者)

石黒 浩 氏 大阪大学教授/ATR 石黒浩特別研究室室長

・13時10分～14時00分 特別講演

「中小企業の「生産拠点を持たない海外展開」戦略」

丹下 英明 氏 日本政策金融公庫 総合研究所主席研究員

(講演後、都産技研のロボット産業活性化事業紹介を行います。)

(MTEP 海外規格特別セミナー&海外規格相談会を実施します。)

【事前申込制】

3. 6月10日(金) ー先端ものづくり 生活技術・ヘルス케어ー

・10時00分～10時50分 特別講演

「生産性の高いCFRPの製造方法(仮)」小川 繁樹 氏

三菱レイヨン株式会社 炭素繊維・複合材料技術統括室 担当部長

・13時10分～14時00分 特別講演

「人間工学や感性工学を活用したモノづくり(仮)」立田 美佳 氏

パナソニック株式会社 プロダクト解析センター ソリューション本部  
係長

・13時10分～14時00分 特別講演

「世界市場を目指した国際標準化戦略」

成富 正徳 氏 大成プラス株式会社 会長

●研究成果発表・その他

6月9日(木曜日)・10日(金曜日) 両日開催

・研究成果発表・展示 【参加自由】

都産技研や連携機関による幅広いテーマの約100件の発表を行います。

また、研究成果などの展示も行います。

・見学会 【一部事前予約制】

見学のご要望が多い設備や、発表に関連した装置などをご覧いただく見学会  
を開催します



■03 プレス情報 (2件)

- ◎ 3/24 「平成 27 年度 COC 事業成果報告会」を開催  
※リンク先 <http://www.yamanashi.ac.jp/4458>

平成 28 年 3 月 24 日 (木)、山梨県立図書館 (甲府市) を会場に、平成 27 年度 COC 事業成果報告会を開催し、本学教職員・学生を含む県内外から約 100 名が参加しました。

平成 26 年度に採択された「地 (知) の拠点整備事業(大学 COC 事業)『山梨ブランドの食と美しい里づくりに向けた実践的人材の育成』」において、山梨県の農業分野の衰退に歯止めをかけ、自然と一体となった新たな里づくりを行うという課題の解決に、全学的に取り組んでいます。

COC 事業成果報告会は、島田眞路学長による開会挨拶の後、郷 健太郎地域未来創造センターCOC 部門長が、「山梨大学 COC 事業の取組み～教育・研究・社会貢献から～」と題した平成 27 年度の事業報告を行いました。

また、地域の課題を研究テーマとする「地域志向型教育研究プロジェクト」の採択教員 6 名と地域に学び、課題解決を目的とする「地域課題解決科目」を受講した学生 3 名が、それぞれ事業成果を報告しました。

その後、研究分野、教育分野に分かれ、18 の教育研究プロジェクトと 9 の地域課題解決科目のポスター発表が行われ、参加者はそれぞれブースを回り、プロジェクト採択教員や受講学生と熱心に質疑応答を行いました。

- ◎ 4/13 医学部薬理学講座・小泉修一教授と生理学研究所・鍋倉淳一教授らのグループが脳皮質クリア細胞に注目した新しい慢性疼痛発症のメカニズムを明らかにしました。

※リンク先

<http://www.yamanashi.ac.jp/wp-content/uploads/2016/04/20160413.pdf>



■04 その他 (2件)



- (1) 経済産業省「2016 年版中小企業白書・小規模企業白書」 公表  
<http://www.meti.go.jp/press/2016/04/20160422002/20160422002.html>

- (2) 神奈川県産業技術センターからのお知らせです。

■お知らせ■

『さがみロボット産業特区』スペシャルアニメが完成！  
ーさがみ×手塚アニメー

リンク先 <http://sagamirobot.pref.kanagawa.jp/>

「さがみロボット産業特区」では、生活支援ロボットの開発支援や普及促進など、様々な取り組みを行っていますが、このたび、ロボットと共生する社会の実現に向けて、未来の「さがみロボット産業特区」を描いたスペシャルアニメ「ROBOT TOWN SAGAMI 2028」を製作しました！  
手塚プロダクション制作による本格的ショートアニメとなっており、あの「鉄腕アトム」も登場します。是非ご覧ください！

<http://sagamirobot.pref.kanagawa.jp/anime.html>



- 
- 1) このメールの内容は、提供された会員様限りでご使用下さい。
  - 2) メールの内容については国立大学法人山梨大学が著作権を有します。